

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成26年9月11日(2014.9.11)

【公表番号】特表2013-503367(P2013-503367A)

【公表日】平成25年1月31日(2013.1.31)

【年通号数】公開・登録公報2013-005

【出願番号】特願2012-526959(P2012-526959)

【国際特許分類】

G 0 2 F 1/133 (2006.01)

G 0 9 G 3/36 (2006.01)

G 0 9 G 3/20 (2006.01)

【F I】

G 0 2 F 1/133 5 4 5

G 0 9 G 3/36

G 0 9 G 3/20 6 2 2 C

G 0 9 G 3/20 6 2 1 F

G 0 9 G 3/20 6 2 1 A

G 0 9 G 3/20 6 2 3 C

G 0 2 F 1/133 5 6 0

【誤訳訂正書】

【提出日】平成26年7月25日(2014.7.25)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 7

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 2 7】

図 5 に示される代表的なパルスなど、リセットされた電圧パルスを所望の画素に適用した後に、僅かな遅延が生じ得る。このような遅延は画素の乱れを生じ、最終的に表示される画像のコントラストを改善し得る。しかしながら、この遅延が長すぎると、液晶は反射平面状態へと弛緩する。例えば、遅延は 1 マイクロ秒～6 ミリ秒であり得る。より好ましくは、遅延は 1～3 ミリ秒であり得、又は代表的な実施形態においては、これは約 2 ミリ秒であり得る。最適な遅延長さは、ディスプレイの大きさ、解像度、並びにディスプレイの物理的及び電気的特性を含む多くの要因に影響される。遅延は、既定であり得るか、又は技術的制約による自然な時間経過であり得る。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

画素を形成する行及び列を有するパッシブマトリックス型ディスプレイシステムの少なくとも一部分を駆動する方法であって、次の順序で実行される、

(a) 第 1 電圧パルスを前記行に出力することによって、前記パッシブマトリックス型ディスプレイシステムの前記画素をホメオトロピック状態に駆動する工程と、

(b) 前記パッシブマトリックス型ディスプレイシステムの前記画素をフォーカルコニック状態に駆動する工程と、

(c) 第2電圧パルスを前記行に出力することによって、前記パッシブマトリックス型ディスプレイシステムをホメオトロピック状態に駆動することにより、前記画素をリセットする工程と、

(d) 1マイクロ秒～6ミリ秒の範囲内の、規定の周期の間、待機する工程と、

(e) 前記行に第1行電圧信号を出力する工程であって、該第1行電圧信号が、書き込まれる前記マトリックスの前記行に適用される工程、及び、前記行に第2行電圧信号を出力する工程であって、該第2行電圧信号が、書き込まれない前記マトリックスの全ての前記行に適用される工程と、

を含む方法。

【請求項2】

ディスプレイを駆動するためにシステムであって、

(a) 画素を形成する行及び列を有するパッシブマトリックス型ディスプレイと、

(b) 駆動回路であって、次の順序で、

(i) 第1電圧パルスを前記行に出力することによって、前記パッシブマトリックス型ディスプレイシステムの前記画素をホメオトロピック状態に駆動し、

(ii) 前記パッシブマトリックス型ディスプレイシステムの前記画素をフォーカルコニック状態に駆動し、

(iii) 第2電圧パルスを前記行に出力して前記パッシブマトリックス型ディスプレイをホメオトロピック状態に駆動することにより前記画素をリセットし、

(iv) 1マイクロ秒～6ミリ秒の範囲内の、規定の周期の間、待機し、

(v) 前記行に第1行電圧信号を出力し、該第1行電圧信号を、書き込まれる前記マトリックスの前記行に適用し、及び、前記行に第2行電圧信号を出力し、該第2行電圧信号を、書き込まれない前記マトリックスの全ての前記行に適用する、

ように構成された駆動回路と、

(c) 前記パッシブマトリックス型ディスプレイ及び前記駆動回路に電氣的に連結されたコントローラであって、前記コントローラは前記第1電圧パルス及び第2電圧パルス、並びに前記第1行電圧信号及び第2行電圧信号を制御する、コントローラと、

を含むシステム。